

第3章：生活交通に対する意識

1. 高齢者へのアンケート調査

1) アンケート調査の実施概要

(1) アンケートの実施手法

津野町社会福祉協議会のスタッフが、対象者に対する聞き取り調査として実施している。

(2) アンケートの対象者

津野町に暮らしている高齢者。

(3) 回答が得られたサンプル数

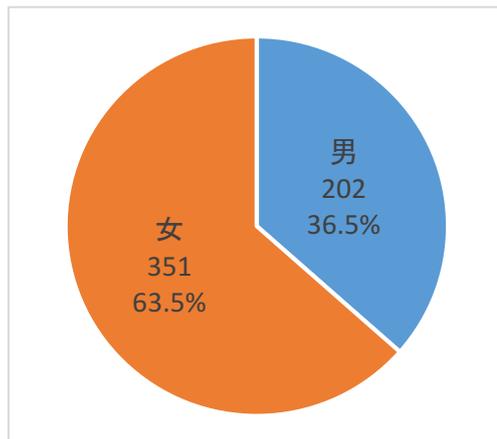
553 人から回答が得られている。

2) アンケート調査の結果【抜粋】

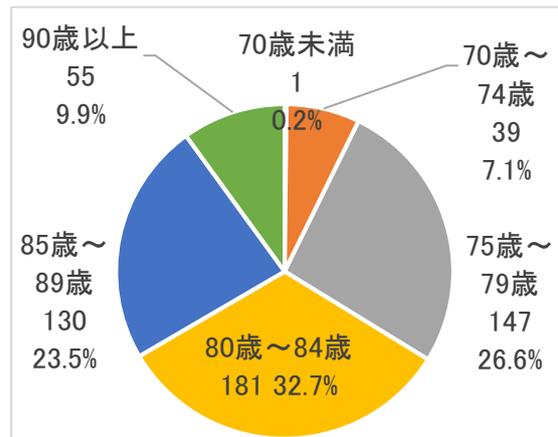
(1) 回答者の属性について

回答者は女性が 63.5%と男性より多くなっている。高齢者に特化したアンケート調査のため、回答者の9割以上が後期高齢者となっている。

■ 回答者の性別

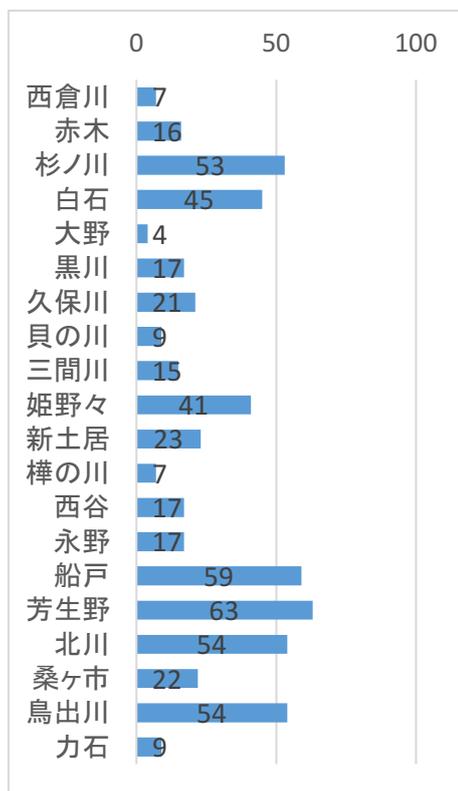


■ 回答者の年齢

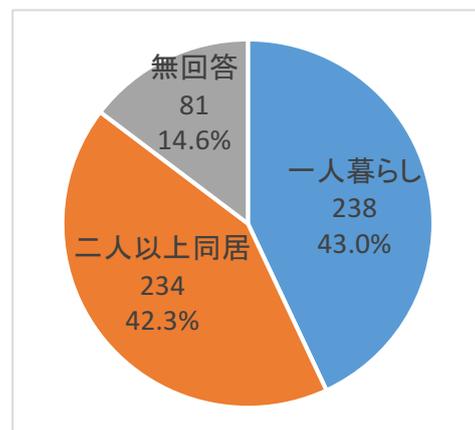


回答者の内、43%が独居となっている。

■ 回答者の住まいの地区



■ 回答者の家族構成



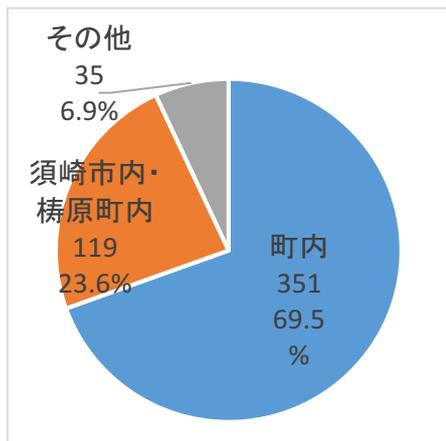
(2) 日常の移動について

■ 買い物の行き先とその頻度

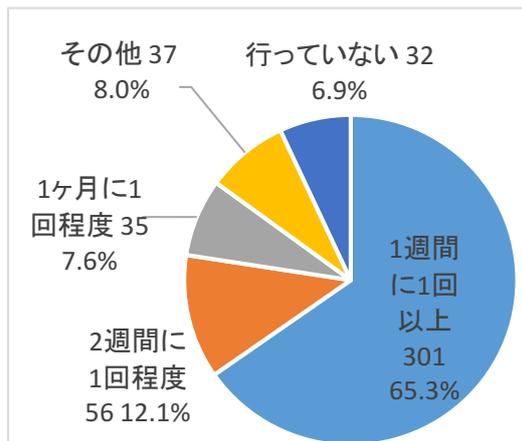
町内で買い物を済ませている人は 69.5%で、須崎市や梶原町に買い物に出ている人は 23.6%となっている。

買い物の頻度は、1週間に1回以上が最も多く 65.3%となっている。

図：買い物の行き先



図：買い物の頻度

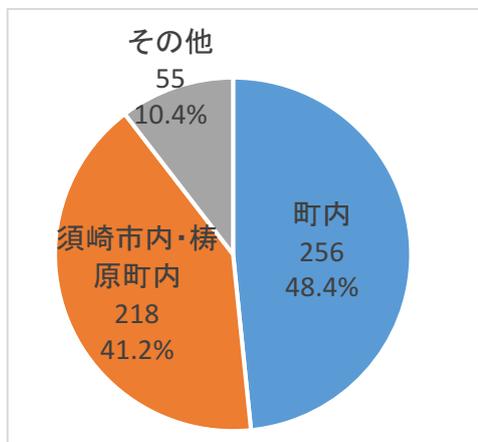


■ 病院の行き先とその頻度

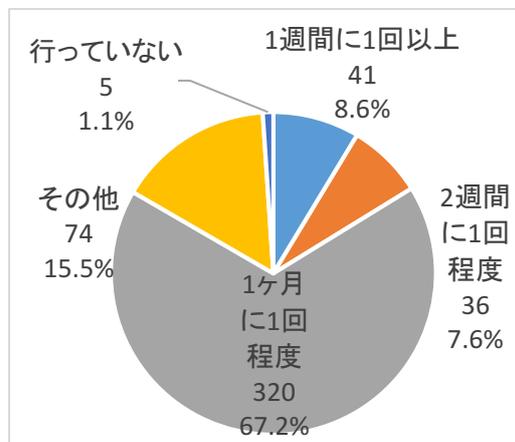
病院の行き先では、町内の医療機関に通っている人が 48.4%、須崎市や梶原町が 41.2%となっている。

通院の頻度では、1ヶ月に1回程度が最も多く 67.2%、1週間に1回以上が 8.6%と続いている。

図：病院の行き先



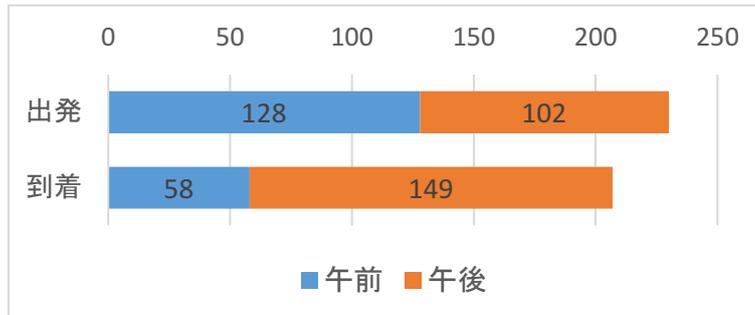
図：通院の頻度



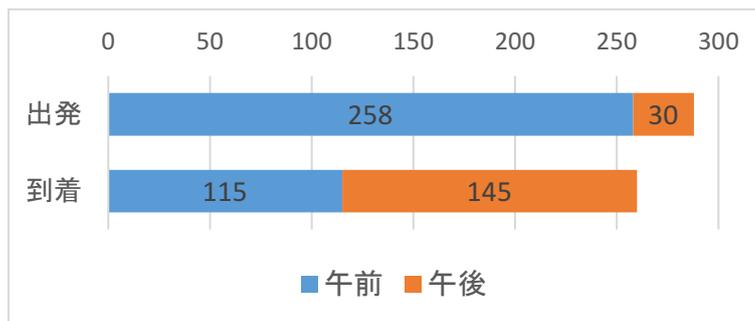
■ 外出の時間帯

買い物や通院で外出する時間帯を聞いたところ、買い物は午前、午後が約半分ずつとなっているが、通院は午前中に自宅を出発する人が多くなっている。

図：買い物での外出時間帯



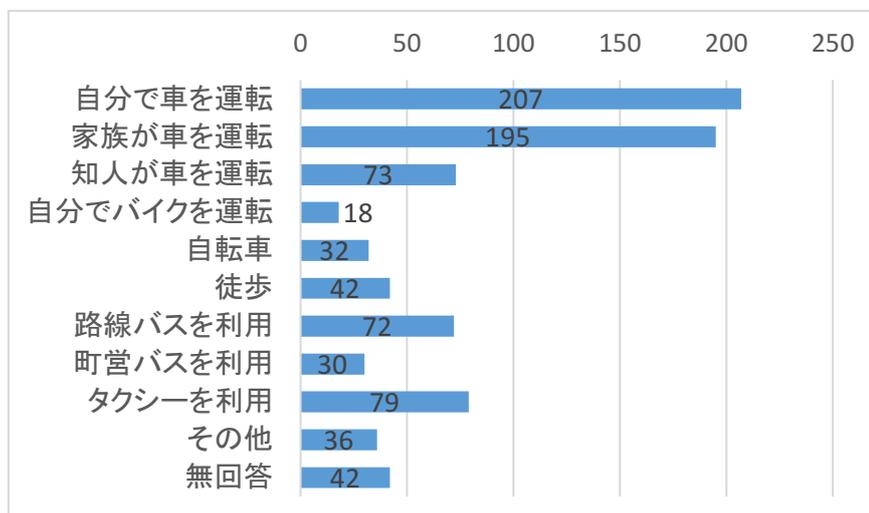
図：病院への外出時間帯



■ 所持する移動手段 [複数回答]

所持する移動手段を見てみると、「自分で車を運転」と、「家族が車を運転」が多くなっている。路線バスや町営バス、タクシーなどの公共交通を使う人も多くなっている。

図：所持する移動手段



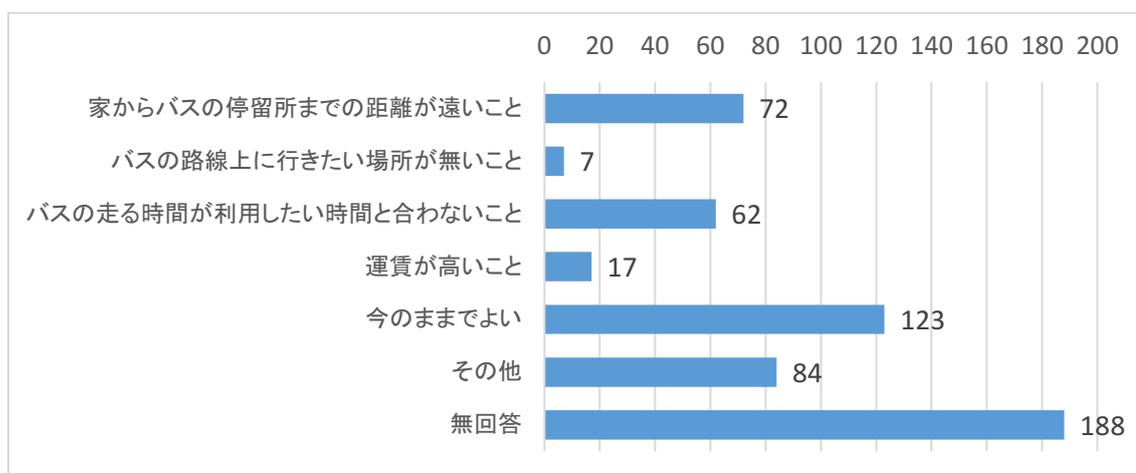
(3) 既存の公共交通について

■ 路線バス（高知高陵交通）や町営バスを利用する上で最も改善してもらいたいこと

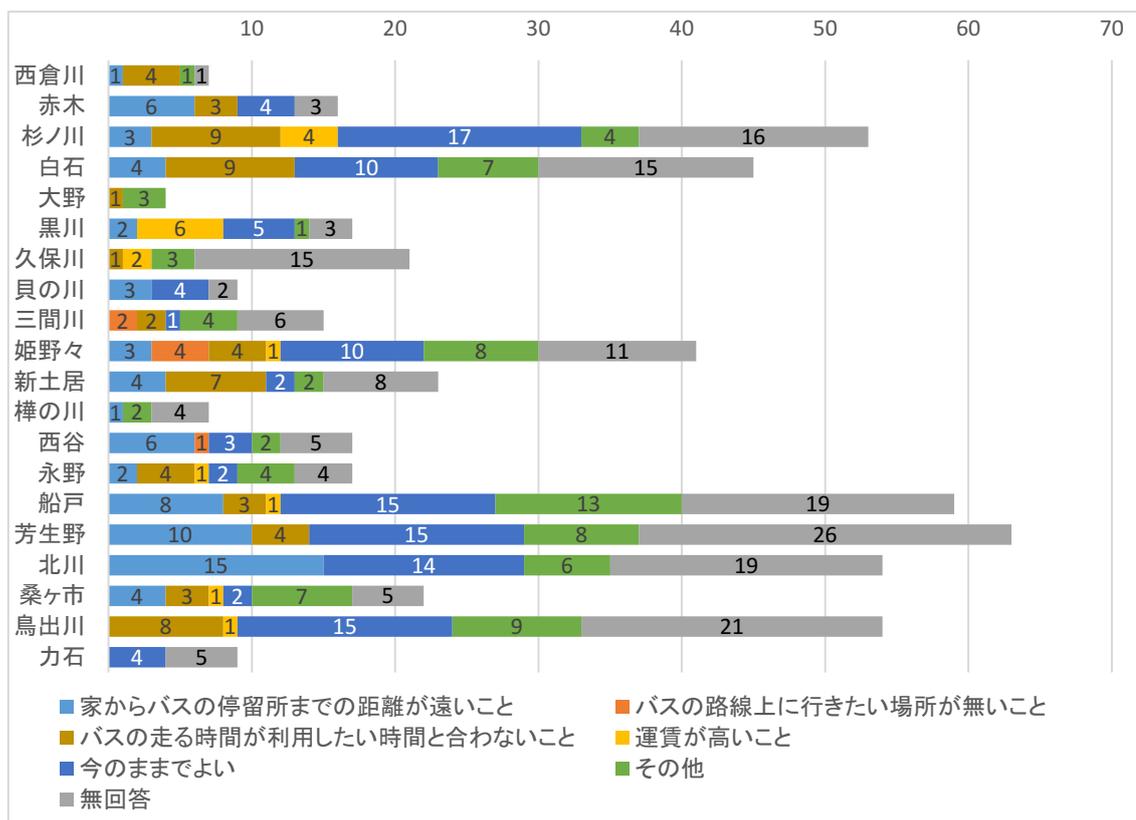
「無回答」を除くと、「今のままでよい」が123人で最も多くなっている。次いで「家からバスの停留所までの距離が遠いこと」が72人、「バスの走る時間が利用したい時間と合わないこと」が62人、「バスの走る時間が利用したい時間と合わないこと」が62人となっている。

「家からバス停が遠い」と回答した人は西地区に多いことがわかる。

図：路線バスを利用する上で最も改善してもらいたいこと



図：クロス集計 地区別に見たバスについて改善してもらいたいこと

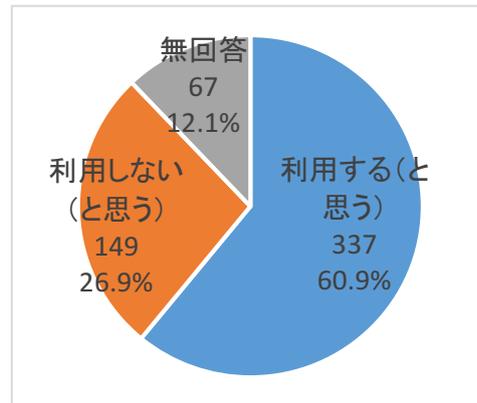


(4) 週に1日新しい移動手段が運行するとしたら

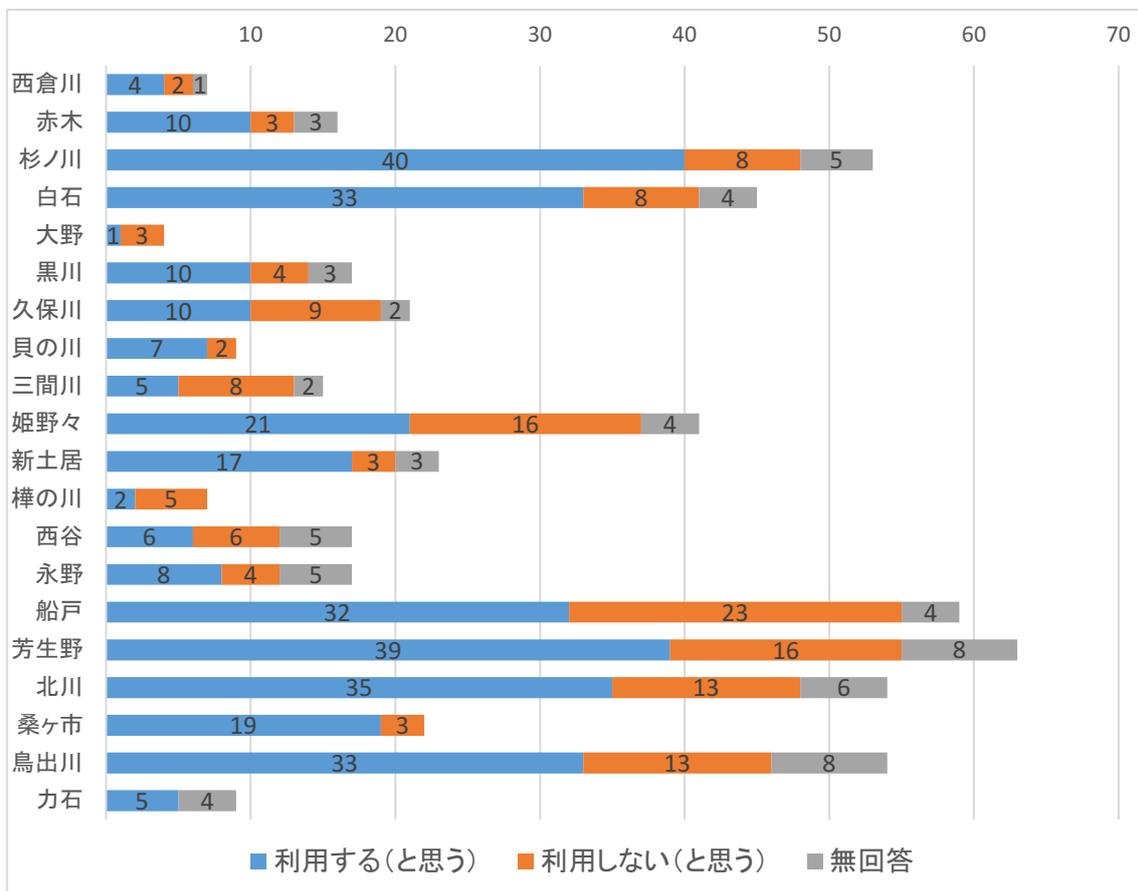
■ 週に1日家の近くを新しい移動手段が通るとしたら、利用するか

もし、新しい移動手段が運行をはじめたら？という質問では、半数以上の方が「利用する（と思う）」と回答している。地区別に見ると、東地区では杉ノ川や白石地区で導入に前向きな回答が多く、西地区では芳生野、北川、烏出川、船戸といった地区で前向きな意見が多くなっている。

図：新しい移動手段への期待



図：クロス集計 地区別に見た新しい移動手段への期待



2. 地区別意見交換会より

1) 意見交換会で寄せられた意見

本町において、移動制約者が生活を維持させるための移動手段をどのように確保しているのかを把握するため、高齢者が集まる「あったかふれあいセンター」を訪問し、他地域の取り組みを説明した後、高齢者との意見交換を行った。

平成 27 年度に第 1 回目の意見交換会を行い、その後平成 28 年度にコミュニティバス試験運行開始前と後に 2 回実施している。



写真：船戸地区での意見交換

郷地区

【現状】

- ・現在、自分で運転して買い物や病院に行ける高齢者が多い。しかし近い将来に不安を抱えている人がほとんどである。
- ・町営バスも移動手段のひとつとして認識されているが、町営バスの利用頻度は多くない。
- ・新田で高知高陵交通に乗り換える乗り継ぎ時間に不満があるが、我慢して使っている。
- ・須崎市や梶原町などへの移動もあり、移動の範囲は広い。
- ・高知高陵交通のバスが布施ヶ坂の旧道を通る便については、仕方ないと思って利用している。

【要望】

- ・新田で葉山方面に乗り換える時、10分ほどの乗り換え時間が欲しい。高齢者にとってトイレに行く余裕は必要である。
- ・帰り便が新田での乗り換えで1時間ほど待たないといけない。これを改善してほしい。町営バスの17:10新田発をもう少し早く出発させてほしい。
- ・須崎市内の病院までバスを乗り継いで移動すると運賃が相当高くなる。仕方ないとは思っているが、けっこうな出費である。
- ・車両をもっと小さくした方が、もっとメリットがあるのではないか。

【コミュニティバスに対して】

- ・町営バスを使って週に2回程度移動している人がいる。このような人の移動が不便にならないのであれば、コミュニティバスへの移行も構わない。
- ・日曾の川地区の集落の上の方まで運行してほしい。

<p>新田地区</p>	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あったかふれあいセンターの送迎サービスで買い物などを済ませている人がいる。自力での移動手段確保が困難な人がいる。 ・新田地区内で日々の買い物を済まし、買い回り品の購入に関しては須崎まででかけている。病院に関しても新田を中心に遠くは須崎市や高知市、梶原町まで出かけている。 ・町営バスの大古味線で朝（7時過ぎ）新田まで出てきても、乗り換え便となる高知高陵交通のバスを待つのがつらい。さらに須崎市内でも高知行きのバスの乗り換えがあり、しんどい。朝早くても店も開いてないので寒い中待つのがつらい。帰り便についてはそれほど待つことなく連絡してくれており良い。 ・姫野々のディスカのお迎えバスが来なくなった。 <p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町営バスは実際に乗っている人が少なく、申し訳ない気分になる。かといって用事もないのに乗ることもできない。 ・今以上、バス（大古味線）の便数を増やしてもらいたいとは思わない。 ・車両を小さくして小回りがきく運行をしてもらいたい。大きなバスを貸し切りで利用しているようで申し訳ない。もったいないと感じる。タクシーを安く使えるのであればありがたい。 ・バスが走らなくなるのは困る。運行を続けていただきたい。 <p>【コミュニティバスに対して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの運行が始まり、乗ってみたいと思うことがあるが、曜日や時間が限られていることから、未だに利用につながっていない。友人たちと予定を合わせて、どこかに楽しみのおでかけとして使ってみたい。 ・新田の中心部をぐるりと回って運行してくれていることがありがたい。
-------------	---

<p>船戸地区</p>	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新田方面にも用事がある人が多い。病院、役場支所、歯医者、学校などがあるため、月に1～2回程度の割合で新田に移動している。 ・高知高陵交通のバスに乗って病院や買い物に移動している人が一定いる。 ・日常的な買い物は地区内で済まし、足りないものについては西森商店や姫野々のサンシャイン、須崎市内のスーパーなどに行っている。移動スーパーやサンシャインの送迎などを利用している人もいる。 ・桑ヶ市地区では、独自の移動手段を持っていないために買い物などに苦労している方がいる。 <p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動の方向性は新田地区に向いている。 ・高知市方面に行く際に、須崎市の営業所での待ち時間が長い便がある。10分～15分程度の乗り換え時間が理想的である。 <p>【コミュニティバスに対して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なんとか路線を残してもらうためにも利用しようと考えている。 ・手を挙げたが停まってもらえなかったことがある。 ・新田の病院に行く時に使っている。
-------------	--

白石地区	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近所の商店での買い物が多い。西森商店まで運動を兼ねて歩いて行く人や車で行く人がいる。 ・病院は杉ノ川の診療所が多い。須崎市や姫野々まで行く人もいる。 ・高知高陵交通のバスは旧道を運行する便が限られていることや、須崎市内のアクセスが弱いことから不便を感じている。 ・須崎市まで片道 1,000 円程度かかる。このことで利用者が減少している現実がある。 ・生活を維持させるためには葉山や須崎市方面に移動できれば良い。新田方面に移動することはない。 <p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知高陵交通に対して、須崎市内で乗り換えてでも須崎くろしお病院まで行けるように要望したい。 ・須崎市の営業所での高知高陵交通ととさでん交通の乗り換え時間が長い便がある。高齢者でも待てるような時間設定にしてほしい。 ・高齢者の生活に合わせてバス路線の再編につなげてほしい。 <p>【コミュニティバスに対して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの運行曜日が、高齢者のサロンと同じ曜日であるため、送迎のあるサロンに来てしまう。運行曜日を変えてもらえると利用しやすくなる。 ・土曜日も運行してもらいたい。 ・ディスカまで買い物のために利用したが、帰り便までに 15 分しか時間がなく、やっておきたいことができなかった。 ・歯医者が木曜休診なので、木曜日に運行してもらいたくない。 ・停留所の掲示などをもっと分かりやすくしてもらいたい。
------	---

<p>姫野々地区</p>	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 移動手段を持たない人は宅配サービスやタクシーを利用している。 ・ 日々の買い物は地元のサンシャインや商店で済ませている。 ・ 高知高陵交通のバスを使っている人は（会場には）いない。運行本数を知っている人はいなかった。⇒ 高知高陵交通に対する関心が薄い。 ・ 高知高陵交通のバスを利用したくても、自宅からバス停までの移動が困難という人がいる。 ・ 日々の生活を維持させるために姫野々に出られれば済むという人が多い。須崎市まで行きたいという人もいるが、須崎市までは高知高陵交通のバスがある。 <p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運転手から「どこでも乗降できる（フリー乗降）」と言ってもらえた。そのおかげで便利になった。 ・ 高齢者が無料でバスを使えるのはいい。文化活動などに出かけられるといい。 ・ 低床車両を積極的に導入してもらいたい。高齢者でも楽に乗降できるとありがたい。 ・ 高知市内の中心商店街まで、バスで出かけやすい運賃設定にしてもらいたい。 <p>【コミュニティバスに対して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 枝葉のような集落から、町の中心部まで出てこられるのはたいへんありがたい。 ・ まだ人が暮らしているもののコミュニティバスが運行してないところがある。このような場所を無くすように運行してもらいたい。
--------------	--

3. 生活交通に対する意識から見る移動手段確保の視点における考察

① 独居の高齢者が多くなっている

高齢者を対象としたアンケートの回答者の内、43.0%の回答者が独居となっており、独居高齢者に対するケアが今後の課題となることが予想される。

② 地区によって路線バス（高知高陵交通）に対する意識に差がある

杉ノ川や姫野々、船戸といった高知高陵交通沿線の地区では、路線バスへの要望として「今のままでよい」という回答が多くなっている。現状で改善に繋げて欲しい要望としては「家からバス停までの距離が遠いこと」、「バスの走る時間が利用したい時間と合わないこと」などに多くの回答が集まっている。

③ 移動手段の確保が困難な高齢者が今後増加する

いわゆる団塊の世代が70歳代の中頃となり、自動車の運転に不安を感じる人が増加傾向にある。高齢者を対象とした意見交換会においても、近い将来に不安を感じている人はたくさんおり、移動手段の確保に困難を来す高齢者は今後増加していくと考えられる。

④ 路線バスのことがあまり知られていない

高知高陵交通の路線バスや町営バスのことについて、日頃から利用している人はだいたいの情報（運行ダイヤ、路線、運賃など）を得ているが、利用していない人は運行本数すら分からない状況となっている。バスに対する認識不足が原因で利用に繋がらないケースがかなりの部分であるのではないかと推測される。

⑤ コミュニティバスの運行と地区のニーズが合致してない部分がある

コミュニティバスを使って高齢者のリフレッシュサロンに参加してもらえればと運行を開始したコミュニティバスであるが、送迎サービスのあるリフレッシュサロンにコミュニティバスを使って参加する高齢者がいない。また、コミュニティバスを利用して買い物や病院に行きたい人が、リフレッシュサロンがコミュニティバスの運行日に開催されるため、行けないなどといった実態がある。試験運行を通じて利用ニーズを詳細に把握し、リフレッシュサロン担当組織と調整を図ることが求められる。

⑥ 公共交通網に対する不満への対応が求められる

「コミュニティバスと路線バスを乗り継ぐための待ち時間が長すぎる便があり使いづらい」、「外出先での滞在可能時間が短すぎて買い物がゆっくりできない」といったコミュニティバスに対する不満が寄せられている。このような利便性の悪さを指摘する意見を改善し、本格運行につなげることが求められる。